

最後に

幼児教育の「質」と「独自性」の向上  
～日野市内の幼児教育機関が各園独自の特色をさらに発展させるために～

- 各幼児教育機関に広く知ってもらうための発信方法を考える
- 相互の園の情報を共有しあう場や機会を作ること



具体的な方法

保育者同士の交流

- ◇情報パネル展示に参加する
- ◇研修会・講演会などへの参加呼びかけをする
- ◇幼児教育の課題の調査研究・実践課題等の成果を公開する

こども同士の交流

- ◇地域の小学校、私立・市立保育所及び幼稚園をグループ化し、合同行事を開催する

市立幼稚園は、日野市全体の幼児教育の充実・発展に向けて、各幼児教育機関を繋ぐ縁の下の力持ちとしてがんばります！



平成 26 年 6 月発行

～日野市全体の幼児教育の充実を目指す～  
市立幼稚園の今後のあり方について

日野市立幼稚園

市立幼稚園の新たな役割



縁の下の力持ち

市立幼稚園は幼児が生きる力の基礎を身につけ、小学校教育へ円滑につながっていくために市立ならではの幼児教育に取り組んできました。今後は、日野市全体の幼児教育の充実を目指し、市内の幼児教育機関が連携し、発展していくための「縁の下の力持ち」として活動していきます。

幼児教育において重要となる3つの柱

今まで市立幼稚園が培ってきた幼児教育について、今後も重要な課題となるものを3つの柱とし、さらに充実を図りながら、その成果について市内の幼児教育機関に情報提供していきます。

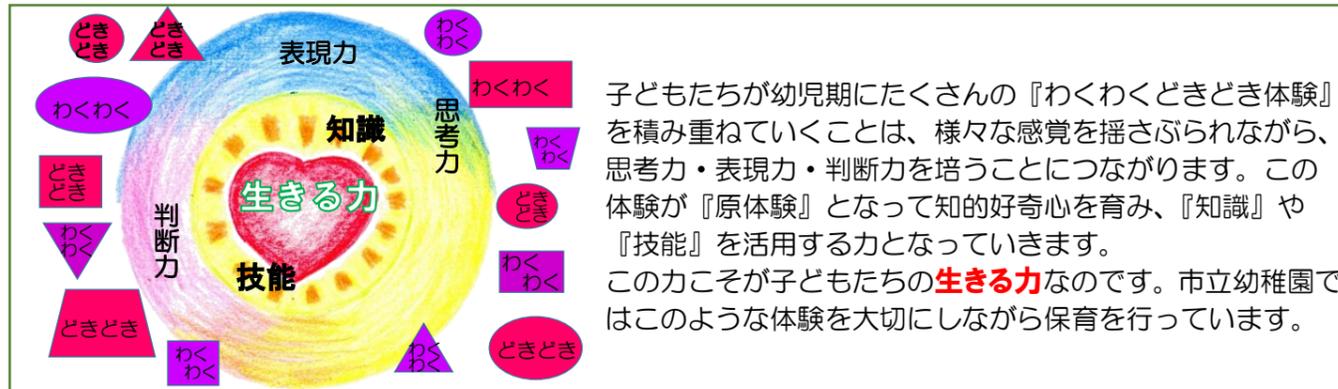
生きる力の基礎を培う幼児教育

幼保小連携教育

特別支援教育

これらの内容について次ページ以降、紹介していきます。

# 生きる力の基礎を培う幼児教育



## 技能を生かした事例 「劇に使うお面作り」

イメージ通りの作品を作るために、「折り紙で経験した「しっかり折る」「折り筋を付ける」等の技能を生かす

今日は空き箱で車を作りましたよ。

## 知識を生かした事例 「氷作り～うましくない～」

疑問や予想を確かめるための試行錯誤に、経験から得た知識を生かす

## 知識と技能を生かした事例 「びっくり箱を作ろう！」

思いを実現するため、経験から得た知識と技能を生かす

## 安心して園生活を送るための支援の工夫

一日の流れをわかりやすく視覚的に表示

活動時間の切り替え時間をあらかじめ知らせる

視覚による指示カード

## 保護者と教師・支援員の連携

今日は空き箱で車を作りましたよ。

保護者

教師・支援員

そうですか。最近家でも工作が好きなんです。

## 保育カウンセラーの活用

あの時の声かけのタイミングはよかったわね。

保育カウンセラー

いつ声をかけようか迷ったけれど、あれで気持ちが切り替わったようです。

教師・支援員

## 支援についての研究・研修

支援方法、保育の工夫について、研究・研修を重ねています。今後、この研究成果や研修について他の保育園・私立幼稚園とも情報共有していきます。

## 療育機関との交流

第七幼稚園では、日野市発達・教育支援センターと交流しています。週に一回、「きぼう」に通っている子どもが幼稚園に来て、一緒に製作をしたり、踊りを踊ったりしています。交流を通して、子ども同士が互いの特性について理解し認め合う貴重な機会となっています。

※「きぼう」とは日野市発達・教育支援センターの行っている通園事業です。

# 特別支援教育

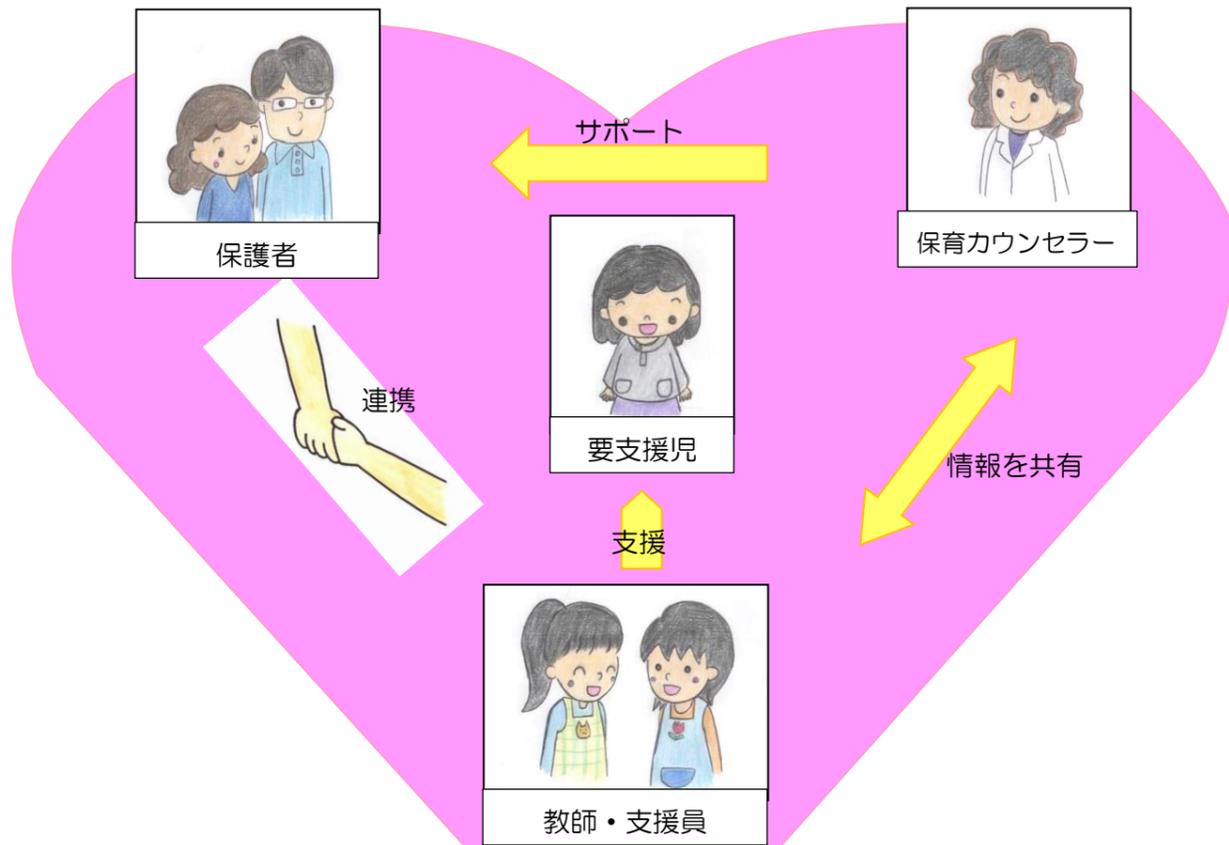


一人一人の個性や特性が活かされる学級づくり

市立幼稚園では特別な支援を要する幼児が安心して周囲の環境と十分かわり、発達が促されるよう、一人一人の教育的ニーズに応じて支援を行う「特別支援教育」を行っています。支援を要する幼児が学級の中で個性や特性を發揮し、活かされる学級作りをしており、幼児同士が相互理解を深めながら、社会性豊かな人間となるような教育を行っています。幼児理解と特別支援教育についての知識と経験を深めるとともに、指導内容や指導方法を工夫した特別支援教育を推進しています。

## 特別な支援を要する幼児への支援体制

特別な支援を要する幼児を安心して預けられるような支援体制を構築しています。



特別な支援を要する幼児の教育的ニーズに合わせて「支援員」を配置し、学級担任と連携して支援しています

## 知的好奇心を育む、原体験を重視した教育活動

元気野菜づくりの取り組み事例を紹介します！



これがボカシ菌(菌ちゃん)です

味噌のにおいがするね。(嗅覚の刺激！)



砕いた野菜くずを菌ちゃんと混ぜます。



菌ちゃんと野菜くずが混ざったものを土に混ぜ込みます。土に混ぜ込んで数日後・・・

不思議だな・・・  
何でかな・・・  
と思う  
これが**思考力**に！

この白いのが菌ちゃん？

菌ちゃんが野菜くずを食べたのかな？



どうすればいいかな？  
やり方を決めよう  
これが**判断力**に！

シャベルを順番に使おうよ。

触ったら交代してね。



感じたことを素直に表す  
友達と共感しあう  
これが**表現力**に！

ミカンのにおいがするよ

あったかいよ！  
ねえ触ってみて！



どきどき

どうなるかな・・・

わくわく

たのしいね

またやりたいね！

わくわく

どきどき

このような体験が知的好奇心を育む大切な原体験となり、**生きる力**へとつながっていきます！

# 幼保小連携教育



市立幼稚園の幼保小連携教育は、近隣の小学校と共に計画的に行われています。その中の幼児と児童の交流・合同活動では、それぞれのメリットとなる連携教育が展開されています。また、保育者と教師間の研修会・交流会では相互理解を深める話し合いや情報交換が行われています。そこで市立幼稚園は、今まで積み重ねてきたこれらの経験や情報を、地域のネットワークの中で共有できるように働きかけ、幼保小連携教育の充実を目指します。

## 現在行われている幼保小連携教育

### 幼児・児童の交流活動



幼児は児童に憧れをもち、児童は責任感をもってかわっていきます

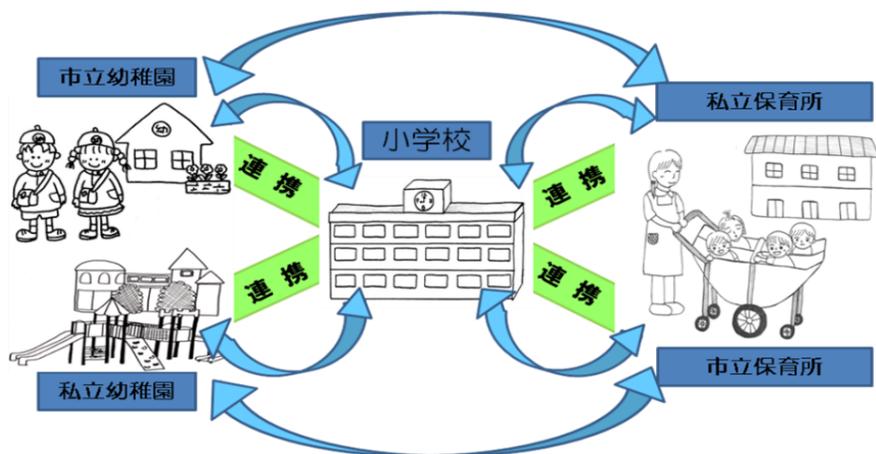
### 保育者と教師の合同研修



幼稚園・保育園・小学校の先生同士が顔見知りになり、連携がよりスムーズになっていきます

## 新たな幼保小連携教育に向けて 地域でさらにつながろう

### 小学校教育の充実を願って！



実践している連携教育を広く伝えていく

### 小学校が中心となることで

- ◆就学に向けて子ども達を見守るようになり、幼稚園と保育園がより強につながります
- ◆連携教育の必要性がより実感できます

市立・私立保育園や私立幼稚園を含めた新たなネットワークを構築しさらに幼保小連携教育を推進していきます

## 滑らかな接続に役立つ資料です!!

### 「ひのっ子カリキュラム」

### 「遊びっ子学びっ子接続ブック」

子どもに経験してほしいことや育てたい力を「人とのかかわり」「学び」「生活」3つの項目でまとめています

ひのっ子カリキュラムをもとに、5歳児から小学校入門期までの子ども達の姿や活動を、より具体的にまとめています



子どもってこんな風に段階を踏んで成長していくのね!

この資料を十分活用できるとこんなにたくさんメリットがあるのね!

子ども達にとっては・・・

- ・豊かな人間性を育みます
- ・よりよい発達や学びにつながります



保護者にとっては・・・

- ・保育や授業の内容が分かり、子どもの成長に見通しがもてます
- ・保育や授業に安心感ももて、学びにつながる事が分かります



幼稚園・保育園・小学校にとっては・・・

- ・保育から授業へ無理なく移行できます
- ・各々の特色を生かします